

浜田みなとニュース 第27号

THE HAMADA MINATO NEWS

2023年3月発行



「浜田港福井第2上屋」が完成

令和4年11月20日、浜田港福井ふ頭に福井第2上屋が完成しました。

上屋は、鉄骨平屋建て延べ床面積約2,000㎡で、平成25年に整備された福井第1上屋(約2,000㎡)の隣に建設されたことにより、コンテナ処理能力が増強され、貨物の一時保管や荷捌きに利用されます。

島根県唯一の国際貿易港である浜田港のコンテナ貨物取扱貨物量は、平成30年から令和2年まで3年連続で過去最高を更新し、コンテナ貨物が増加する中で、新たな上屋の整備が望まれていました。

上屋の完成を祝し、荷主関係、工事関係及び行政関係等約60名が参加され竣工式が開催されました。

テープカットとくす玉開きの記念式に続き、主催者として、丸山達也 島根県知事(代理 松尾紳次 島根県副知事)及び、久保田章市 浜田港振会長(浜田市長)が挨拶を行いました。国土交通省中国整備局の正岡隆 港湾空港部長らのご祝辞をいただき、結びに日本遺産の石見神楽の演目「恵比寿」が披露され、出席者の皆さんと一緒にお祝いしました。

多くの荷主の皆さんに、有効活用していただきたいと思います。

TOPICS 「浜田港ポートセミナーin浜田」を開催



国土交通省中国地方整備局 中崎剛副局長



有限会社旭養鶏舎 竹下靖洋代表取締役社長

令和5年2月14日に「浜田港ポートセミナーin浜田」をいわみ文化振興センターで開催しました。会場・WEB合わせて約60人と多くの参加をいただきました。

主催者を代表して、久保田章市 浜田港振興会会長（浜田市長）が挨拶を行い、中崎剛 国土交通省中国地方整備局 副局長からご祝辞をいただきました。

働き方改革による2024問題とモーダルシフトなど課題が山積する中、今回のセミナーは「物流改善」をテーマに開催しました。

浜田港を利用されている、有限会社旭養鶏舎 代表取締役社長 竹下靖洋様、橋本商店株式会社 代表取締役 橋本隆幸様、浜田港運株式会社 営業部次長 三木一朗様から、浜田港を活用した実例紹介をしていただき、改めて、地域の物流について考える機会となりました。

TOPICS 令和4年度「浜田港の新しい時代の物流研究会」を開催

令和4年9月16日に令和4年度「浜田港の新しい時代の物流研究会」を開催しました。

令和3年度に、「浜田港の利用促進を通じて、物流に関する企業の経営課題解決と石見地域の経済循環の拡大を図る」ことを目的として設立、学術関係者、荷主企業、運送事業者、行政機関等の産学官で構成しています。

浜田港周辺のコテナ貨物調査や課題解決へ取り組みました。



TOPICS 福井ふ頭での「長浜小学校スケッチ会」が開催



浜田市立長浜小学校の3年生32人による浜田港のスケッチ会が9月21日、福井ふ頭の一部を開放し開催されました。

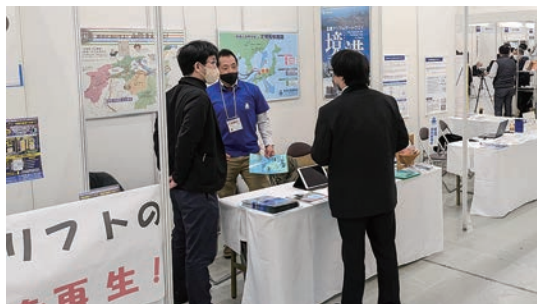
普段見ることのない、港で働く大型重機の数々の中から児童自身がスケッチするものを選び、機械の造りをじっくり観察しながら思い思いにスケッチしました。

これをきっかけに港への興味関心をもつ児童が増えることを期待しています。

TOPICS 「第21回ビジネスフェア中四国2023」へ出展

令和5年2月1日～2日に広島県立広島産業会館を会場として、「第21回ビジネスフェア中四国2023」が開催されました。

浜田港振興会は、鳥取県の境港湾貿易振興会と共同出展しました。浜田港・境港の山陰の貿易港を広く周知するため、来場された多くの皆様へ情報提供を行いました。引き続き、浜田港のポートセールスに努めていきます。



TOPICS 「浜田港クルーズ勉強会」を開催



株式会社海事プレス社 吉田絵里編集長

浜田港では、令和元年8月4日に外国籍船「コスタ・ネオロマンチカ」が寄港して以降、その後に発生・まん延した新型コロナウイルス感染症の影響等により、令和4年度もクルーズ客船の寄港はありませんでした。

このような中、浜田港振興会では、クルーズ客船誘致に向けての理解と気運醸成を図るため、令和5年2月10日、石見圏域の商工団体、観光協会、行政機関等を対象とした勉強会を開催しました。

当日は、雑誌「CRUISE」の編集長である株式会社海事プレス社の吉田絵里様を招いて、『アフターコロナの客船誘致一港の、街のにぎわいを生むクルーズ船』をテーマに、講演をしていただきました。今後は、アフターコロナを見据えながら、浜田港へのクルーズ客船寄港を目指して誘致活動をすすめます。

TOPICS 水中ドローンによる岸壁の点検を実施

浜田港を管理している島根県浜田港湾振興センターでは、浜田港の岸壁の点検業務に水中ドローンを導入しました。

水面下の岸壁等の調査は、従来から潜水士による目視点検を行っていましたが、人材確保や安全性の配慮などの問題が懸念されていました。水中ドローンを活用することにより、危険な狭水域や大水深での調査が可能になり、さらに潜水時間の制限がなくなり時間も短縮されました。同センターは、今後とも新たな技術を活用し、安全かつ効率的な業務に取り組みます。



TOPICS 令和4年浜田税関支署管内貿易統計（速報値）発表

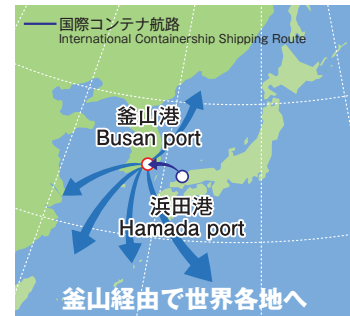
令和4年（1月～12月）の浜田税関支署管内の貿易総額（速報値）は1,987億2千万円（前年比4.2倍）で、前年の実績を1,513億千9百万円上回りました。

輸出入別では、輸出が55億5千9百万円（同106.4%）で3億3千3百万円の増加、輸入が1,931億6千万円（同4.5倍）で1,509億千8千6百万円の増加。輸出入の差引額は1,876億2百万円の輸入超過でした。

コンテナ航路（令和5年3月現在）

■長錦商船・興亜LINE

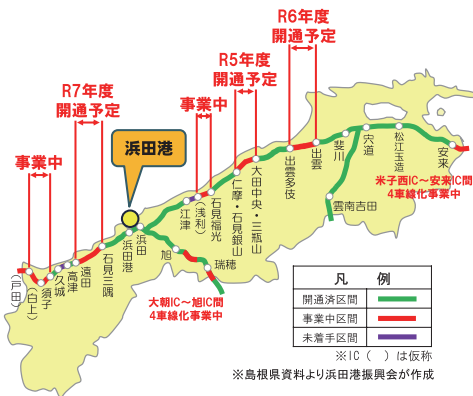
| | |
|--------------|---|
| 運航船社 | 長錦商船株式会社（SINOKOR MERCHANT MARINE CO.,LTD.） 興亜LINE株式会社（HEUNG A LINE CO.,LTD.）（共同配船） |
| 寄港日 （寄港地） | 毎週金曜日 韓国 釜山・釜山新港(土)～金沢港(月)～新潟港(火)～舞鶴港(水)～ 境港(木)～浜田港(金)～韓国 釜山・釜山新港(土) |
| サービス | 韓国釜山でのトランシップにより世界各国と接続 |



■南星海運

| | |
|------|--|
| 運航船社 | 南星海運株式会社（NAMSUNG SHIPPING CO.,LTD.）（※現在、休止中） |
|------|--|

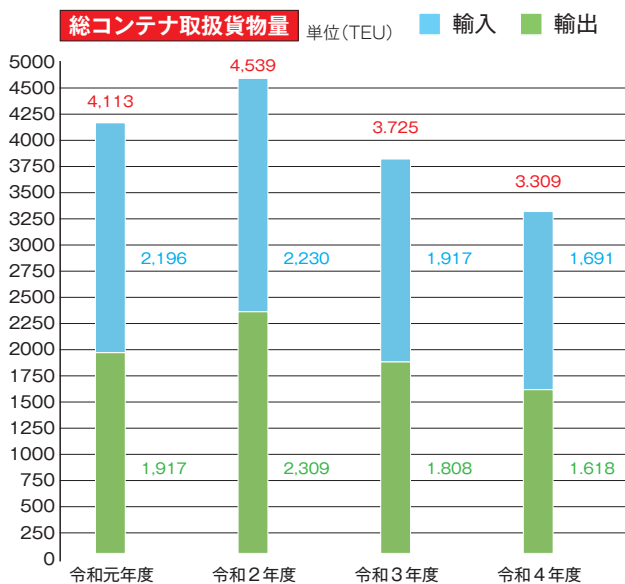
島根県内の高速道路の整備状況（令和5年3月現在）



島根県は東西に230キロと細長く、公共交通機関が十分ではないため、移動手段のほとんどを自動車に頼っている状況から、高速道路の整備が推進されています。このような中で、山陰道では令和5年度の大田中央・三瓶山～仁摩・石見銀山の開通に続き、令和6年度、令和7年度と開通が予定されています。さらに、浜田自動車道の大朝IC～旭IC間の一部区間では、4車線化の事業が着手されました。

山陰道・浜田道等の高速道路の整備により、浜田港をはじめ島根県内外の物流効率化が期待されます。

総コンテナ取扱貨物量実績



※数字は実入りコンテナ 資料:浜田港振興会

令和4年度(令和4年4月～令和5年3月)の実績は、3,309TEU(前年比88.8%)でした。内訳は、輸出1,618TEU(同89.5%)、輸入1,691TEU(同88.2%)でした。

【浜田港のちょっといい話】

令和5年3月4日『第5回 山陰浜田港マリン大橋リレーマラソンplusサンセットマラソン』が3年ぶりに再開されました。

再開を待ち望んでいた多くの参加者で活気溢れる大会となりました。



2023年3月発行

監修・発行者／浜田港振興会事務局

〒697-0062 島根県浜田市熱田町2135-2 浜田ポートセンター内
TEL：0855-24-7733 / FAX：0855-27-4411